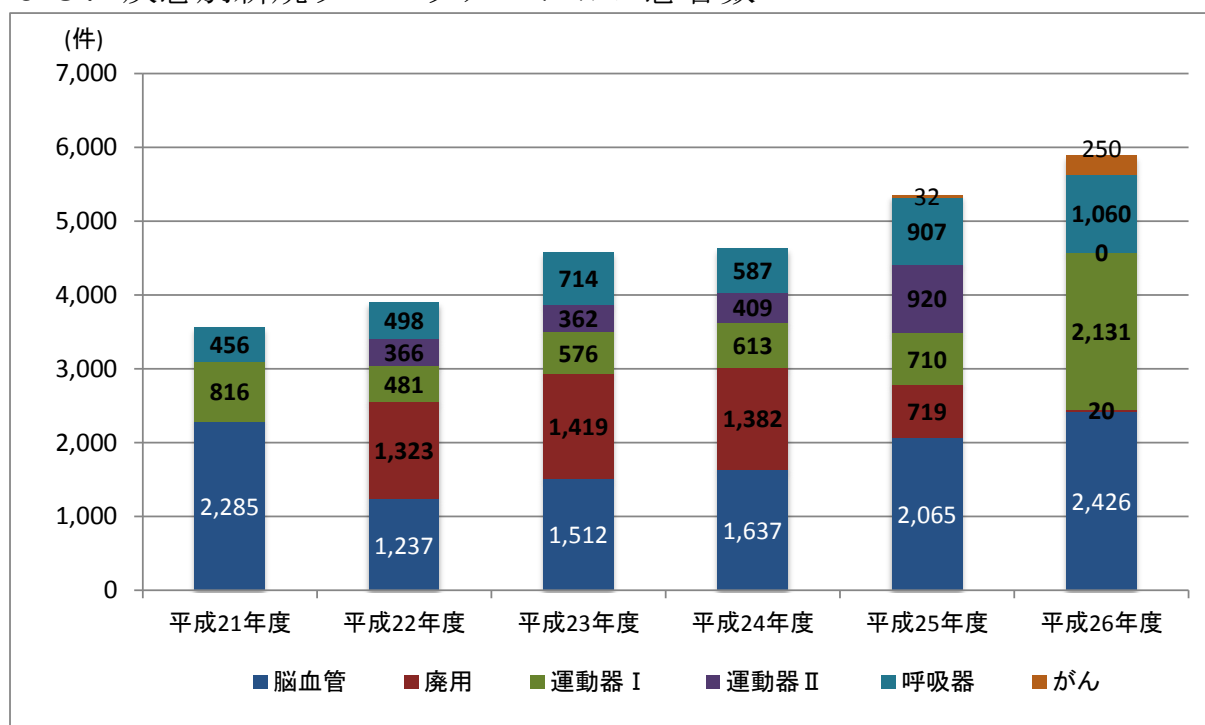


9 3. 疾患別新規リハビリテーション患者数



リハビリテーションの重要性が認識され、診療報酬上でもより多くの算定が可能となっている。当院においてもリハビリテーション実施件数が増加傾向にあり、その中で新規開始患者も増加している。

グラフ中、22年度より分類方法の変更があり、脳血管が脳血管と脳血管廃用に、運動器が運動器 I と運動器 II に変更されている。

今後ますます増加していくと思われる分野であり、療法士数の増加、設備面での拡張が必要となる。

25年度より、当院では廃用での算定から他の疾患でリハビリ訓練料を算定するように配慮した結果、グラフに提示したように脳血管、運動器、呼吸器の算定患者が増加した。

データ提供 リハビリテーション部